

設計に関する研修（施工技術研修）

（公社）兵庫県建築士会研修委員会

兵庫県立兵庫津ミュージアム(ひょうごはじまり館・初代県庁館)見学会

日時：令和5年10月17日（火）14:00~16:00

見学先：兵庫県立兵庫津ミュージアム(ひょうごはじまり館・初代県庁館)

案内・説明：兵庫県都市計画課 土地利用班主査 高橋知己氏

参加者：19名（会員17名）

去る10月17日に、兵庫県立兵庫津ミュージアム(ひょうごはじまり館・初代県庁館)見学会を開催しました。当日は天候にも恵まれ、兵庫県職員の方による解説のもと二つの施設を見学させて頂きました。

兵庫津ミュージアムは、神戸中央市場の南に位置し、令和3年11月に初代県庁館が、令和4年11月に兵庫はじまり館がオープンしました。



見学はまず、ひょうごはじまり館から始まりました。北前船の行灯が下がる印象的なエントランスホールにおいて、兵庫県庁営繕部で設計・監理を担当された高橋様よりから建設に至る経緯、建築概要などの説明をいただきました。

1階はエントランスと常設展示室、ひょうごダイナミックシアターが配され、兵庫の歴史を一覧できるスペースとなっております。

2階は企画展示室と開放的なライブラリーがあり、西に大きく開かれた開口部からは初代県庁館の全容が俯瞰して見られます。3階は主に研修室となっております。



その後、初代県庁館に移動し、改めて高橋様より初代県庁館のご説明いただきました。大規模な木造伝統建築の復元ということで、建築の法的、技術的な解説を中心とした、建築士にとっても関心の高い内容でした。

純木造に見える初代県庁館ですが、防火地域に立地している鉄骨造であり、主要な柱は65mmの無垢の角鋼と耐火塗料である、など復元設計の苦勞が伝わってきます。

平面計画と外観の確定には、古い兵庫勤番所の絵図、姿図の2枚しか資料がなく、日本中の類似施設から専門家の考証を得ながら形状を掘り起こしていった、という過程も大変興味深いものでした。



ひとつおりの解説と見学を終えたのちは、参加者の方々には自由に展示を見ていただく時間としました。

この度は、行楽シーズンの多忙な時期にもかかわらず、兵庫県の職員の方々、施設管理者のアクティオ株式会社の方々に無理をお願いして、対応して頂き実施することが出来ました。この場をかりて感謝申し上げます。

(研修委員会 榎本光展)